

肢体不自由児親子通所事業（くるみ）

【利用対象】 保護者とともに通える身体に障害のある就学前の児童

発達支援、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、給食指導を通して生活経験を広げ、日常生活を豊かに過ごせるように支援します。子どもが保護者と一緒に通所することで、生活や子どもの育ちを確認し、生活習慣の獲得を基本とした集団生活の土台づくりを行っていきます。

発達支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 大人やお友だちと一緒に取り組む遊びや活動を取り入れています。 体調の変化など状況の変化があった時は保護者、職員と共有します。また、日常生活を送る上で子どもの状態を観察するポイントを整理し、共有します。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 体を使う遊び、感覚を刺激する遊びなど様々な遊びを提供します。（ふれあい遊び・製作遊び・水遊び・エアポリンや巧技台遊びなど） 給食場面等において、姿勢や食形態、環境など、本人に合った配慮や工夫を検討します。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 気になる方向に目線を向けること、手を動かしてものに触ってみること、「楽しい」「いや」などを表情に表すこと、発声することなど、本人の力を活かした方法や有効な手段について、探っていきます。 	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 「やりたい」「できた」「いや」等、気持ちの表出について本人の目線、表情、発声、動作など様子を観察し、保護者・職員で共有しながら本人の発信を受け止め、相手に伝わったことを本人が感じられるようにかかわります。 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 大人やお友だちと一緒にやる遊びや活動を設定します。 周りの人の動きや様子に関心を持つことができるよう、大人やお友だちがしている様子を見る、一緒にする、自分でやってみるなど、大人やお友だちの動きを見たり、模倣したりする遊びを取り入れます。 	
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学についてリハビリ担当者、医師と共に情報を提供します。 就園、就学の時期や移行先などについて考えていくための情報を提供します。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> くるみでの生活を通して子どもの課題や得意なこと、強みなど、家庭での生活に生かす具体的な方法を検討し情報提供します。 		
地域支援	<ul style="list-style-type: none"> くるみや家庭、地域生活などのそれぞれでの子どもの行動について共有する機会（面談など）を職員から提供します。 児童発達支援センター診療所や保健師などと連携します。 		